

オールタナティブな近代としてのやおいコミュニティ

	「男性」おたく	やおい愛好者
愛好する対象	戦闘美少女	やおい(男性同士の恋愛物語)
〈大文字の他者〉	異性愛規範	やおいコミュニティ
同一化する対象	異性愛の法に依存した上での 想像的ファルス	ファルスの置換によって多岐 に渡る
副産物	ペニスとファルスの共犯関係 による去勢不安	レズビアン・ファルスへの去 勢不安
ジュイッサンス	ファルスのジュイッサンス	・ 〈他〉のジュイッサンス ・ ファルスのジュイッサンス
去勢不安を引き起こすもの	実生活での異性愛以外のセク シュアリティの実践	・ 共感性・想像性の破壊 ・ 異性愛
約束されるもの	満足	安全

図1 「男性」おたくとやおい愛好者の比較

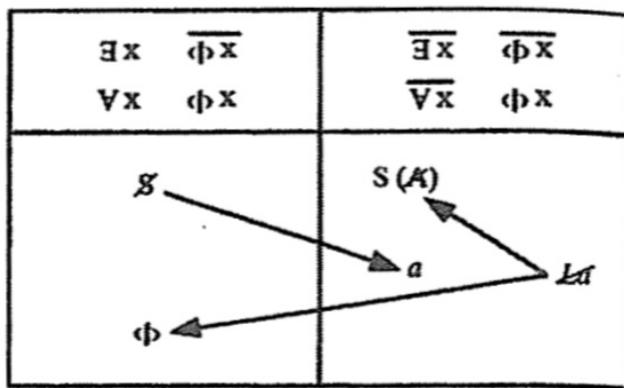


図2 性別化の式(ラカン 2019:139)

1 要旨

本論において主張したいことは以下の通りである。

「男性」おたくにとっての戦闘美少女は想像的ファルスだが、やおい愛好者にとっての象徴的ファルスは、やおいコミュニティによって可能になったレズビアン・ファルスである。

人はエディプスコンプレックスを経て形式化されたセクシュアリティを得る。エディプ

ス三つの時の第一の時では、子は母の現前／不在の不安定な状態を安定した状態へと変えるために、自分を想像的ファルス(=母が子から離れて求めに行くもの)として母に差し出して、二者一体の関係を維持する。この状態は非常に自己愛的なもので、子に万能感を与える。しかし、父が邪魔することでこの関係は終わりを迎える。子をはじめ抵抗するが、結局は父の存在を受け入れる。そして、父のようにファルス「を」「持つ」ことを求めるようになる。このとき導入されるのが象徴的ファルスである。この導入以後、ファリックな意味作用が起動し、セクシュアリティが生み出される。このとき、対象 a も産出されることとなる。これは去勢の際に失われたジュイッサンスの残余であり、欲望の原因として機能する。

去勢のあと、人は「男性」的構造と「女性」的構造のどちらかをもつこととなる。(図 2 参照)「男性」は「男性」のファルスのジュイッサンスとしてファルス「を」「持つ」ことを望む。「女性」は、「女性」のファルスのジュイッサンスとしてファルス「で」「ある」こと、そして〈他〉のジュイッサンスへと欲望が向かうこととなる。なお、この「男性」／「女性」は実際の性自認とは対応しない。斎藤環は「男性」のファルスのジュイッサンスは所有、〈他〉のジュイッサンスは関係だと述べる。

戦闘美少女は高い戦闘能力を誇る美しい若い女性のキャラクターのことを指す。「男性」おたくの営みは想像的ファルスとしての戦闘美少女に同一化することである。想像的ファルスへの同一化は母子一体的な満足「男性」おたくに与えるが、その同一化は不安定である。そのため、戦闘美少女へのヘテロセクシャルな性的な欲求によって、存在を対象 a として固定し、同一化を安定させている。「男性」おたくの営みは満足を保証すると言っていることができるだろう。

「男性」おたくの営みは、ヘテロセクシャルな欲望に依存しているがために、性的にも多様化がすすむ日本社会との齟齬を起こす可能性を孕んでいる。

「男性」おたくの営みは象徴的ファルスと想像的ファルスが共存しているという点で、矛盾を持つ。セクシュアリティは象徴的ファルスの導入、つまり去勢のあとに生み出されるので、去勢の前の想像的ファルスへの同一化は不可能なはずである。「男性」おたくが、おたくの営みでは倒錯的なものを好み、実生活では保守的な性生活を送っていることを考えると、「彼」らの生活は二重性をもっているといえる。ここでは、象徴界の〈大文字の他者〉に言い訳をし、想像的な領域で安心してジュイッサンスに身を委ねることのできる構造があるのではないかと考察できる。それは擬似的な倒錯と呼ぶことができるかもしれない。

やおい愛好者とは既存の作品の性愛関係にない男性キャラクター同士の親密な関係を恋愛物語へと読み替えて楽しむ人のことを指す。やおいコミュニティはその共同体であり、その大部分を「女性」が占める。現代日本は、近代的な理想である男女平等を打ち出し、多くの「女性」が賃労働に従事している一方で、いまだ男女差別が熾烈であり、「女性」は公的領域から排除されている。女性は公的領域で居場所がないために、相互承認を得ることがで

きない。それは実存的な危機を「女性」たちへもたらすだろう。そこで、ある一定数の日本人「女性」は、男性同士の恋愛物語を既存の作品から読み取ることで、作品内・現実内から、異性愛を巧みに排除し、「やおいが解釈できる私たち」という共同体意識を生み出している。これらの営みの根底には人と繋がりたいという欲求がある。これは、「女性」が生き残るために作られたオールタナティブな近代である。こうした点で、やおい愛好者の営みは安全を保証していると言えることができるだろう。

やおいコミュニティでは多種多様な欲望が可能になっている。やおいを楽しむ一方でひとりのキャラクターを溺愛して、そのキャラクターと自分の恋愛物語を楽しむ人もいれば、やおいという営み自体がセクシュアリティとして機能したり、共同体内では、性的マイノリティも受け入れられている。そこでは〈他〉のジュイッサンスだけではない「男性」的な構のものも含んだジュイッサンスがある。

バトラーは、異性愛への抵抗として、想像界での攪乱を提案している。法に直接干渉しようとしなのは、法には異分子を内部に取り込み忘却する力があるためである。バトラーが特に干渉の場として選ぶのは身体である。身体は鏡像段階を通して、虚像としてしか把握されておらず、その境界はいつも揺らいでいる。

ラカンはファルスはペニスではなく、ファルスの特権性はペニスとは関係ないと述べている。しかし、バトラーはファルスがペニスではないという否定関係の欺瞞を暴き、異性愛の法においてはペニスはファルスであると指摘した。また、その一方で、ファルスには想像的な効果がないというラカンの主張を批判し、象徴的ファルスには想像的な領域での置換の働きがあることと、提喩の働きがあることを明らかにしている。つまり、身体はファルスを中心にして把握されるのである。そのため、バトラーは想像的な領域でファルスを置換することによって、ファルスをペニスから引き離し、異性愛主義的でない身体が現れる、と主張している。

また、以上のことと、ファルスとペニスの否定関係を踏まえると、「女性」はペニスを持っていないがために、ファルス「を」「持つ」ことができる。そうであるならば、ペニス羨望と去勢の脅威を行使しながらも去勢不安に怯える「女性」が現れるはずである。

やおいコミュニティ内では、「男性」を排除し、描かれた「男性」のペニスも同性愛的に解釈することで、異性愛化されたペニスの徹底した排除を行っている。こうしてペニスから解き放たれたファルスの置換の働きは、多種多様な対象 a を生み出す力をもつ。バトラーはこの置換されたファルスをレズビアン・ファルスと呼ぶ。やおい愛好者はレズビアン・ファルス「を」「持つ」「女性」なのである。レズビアン・ファルスは、「男性」的構造と「女性」的構造が渾然一体となった欲望を生み出すのである。

最後に、やおいコミュニティに見られる「学級会」は、分離と疎外の結果として起こる去勢不安である。「学級会」とはやおいコミュニティ内でのマナーを巡る議論であり、コミュニティ内のことが外部に晒されること、成員同士の関係が悪くなることが特に忌避される。

分離と疎外は人が言語に入るときの一連の手続きである。人は言語に入るとき自分を疎外して、そして言語という他者の欠如に自分の欠如を重ね合わせることで居場所を得る。この一連の流れは去勢と重なる。やおい愛好者は、日本社会と異性愛に関連した自分自身を疎外し、やおいコミュニティに参入する。もしもコミュニティが外へ暴露されることや、異性愛を思わせる闖入者が存在すれば、レズビアン・ファルスが自分から奪われるのではないかと不安になる。これが去勢不安である。やおいコミュニティには権力がないため、異分子を強制的に排除することができず、想像的な領域でのみ、その試みが行われる。去勢への不安がやおい愛好者同士にどんどん投影され、拡大し、誰が悪いのかわからなくなっている状態が「学級会」である。これは、やおいコミュニティが社会として機能する一方で、想像的に手作りされているがために起こることである。

2 目次

第1章 はじめに

第2章 やおい愛好者とは誰か

2.1 やおい愛好者とBL愛好者

2.2 やおい・BLの歴史 70年代

2.3 やおい・BLの歴史 80年代

2.4 やおい・BLの歴史 90年代以降

第3章 『戦闘美少女の精神分析』と『関係する女 所有する男』への応答

3.1 エディプス・コンプレックス

3.2 エディプス3つの時

3.3 性別化の式

3.4 シニフィアンとシニフィエ

3.5 斎藤『戦闘美少女の精神分析』への応答

3.6 擬似的な倒錯？

3.7 斎藤『関係する女 所有する男』

第4章 やおいコミュニティとレズビアン・ファルス

4.1 東園子の議論

4.2 現代日本の女性差別

4.3 オールタナティヴな近代としてのやおいコミュニティ

4.4 溝口の議論 ヴァーチャル・レズビアン

4.5 やおいコミュニティとレズビアン・ファルス

4.6 安全な不満足を約束するユートピア

第5章 疎外と分離の結果としての「学級会」

5.1 「学級会」とは何か

5.2 疎外と分離

5.3 去勢不安に怯えるやおい愛好者

第6章 おわりに